

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年3月定例会	
議案番号 議案名	<p>議案第64号 令和7年度松戸市一般会計予算          議案第65号 令和7年度松戸市国民健康保険特別会計予算          議案第66号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計予算          議案第68号 令和7年度松戸市駐車場事業特別会計予算          議案第69号 令和7年度松戸市介護保険特別会計予算          議案第70号 令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算          議案第71号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算          議案第72号 令和7年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算          議案第74号 令和7年度松戸市病院事業会計予算</p>
議員名・会派名等	まつどみらい（大橋博、石塚裕、柿沼光利、田中睦生、岡本優子）
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	<p>会派を代表いたしまして、議案第64号、令和7年度松戸市一般会計予算に対して、提出された修正案に対しては反対、原案に対しては賛成。また、議案第65号から第72号までの各特別会計予算、議案第73号から第75号までの各企業会計予算につきましては、賛成の立場から討論をいたします。</p> <p>資材価格の高騰や労務単価の上昇による委託料や工事請負費等の行政経費が増加していく中で、最大のコスト増の要因は時間の浪費であります。計画した事業を確実に実現していくためには、明確な意思決定を速やかに行う必要があります。決断の遅れは事業予算の増大となり、1円でも無駄にしないための議論が反面、億単位のコスト増になることも覚悟して臨まなければなりません。</p> <p>昨年の予算討論から会派として継続した考えは、災害時に市民の命を守るためにも、一刻も早い新庁舎整備を進めていくことが望まれ、少子高齢化、人口減少時代が進み、自治体間での競争が激化していく中で、定住促進につながる「まちづくり」を推進していくことは本市の急務の課題です。本予算案はこれらの課題の方向性を決め、計画から着工に至るもの、意思決定する要素を明確にする調査など重要なものであり、確実に執行していただきたいと考えます。</p> <p>それでは、議案第64号の各事業について、順次意見を述べさせていただきます。</p> <p>■総務費          業務改革（BPR）支援については、新庁舎整備も含め全庁的に足並みを揃えて進めて頂きたいと思っております。新庁舎管理事業については、代表質問でも申し上げたとおり、しっかりと前に進めていただけますよう、強く願います。</p>

公共施設照明 LED 化事業は確実に前進していると思いますが、器具の老朽化や電灯の寿命も迫っておりますので、計画に滞りなく進めていただきますようお願いいたします。

情報システム等活用事業は、まずはデジタル住民ポータルサイト「デジまつ」導入実証経費についてです。先の我が会派代表質問でも述べたとおり、市民それぞれの環境などに応じたデジタルサービスや情報をより分かりやすく提供していく必要があります。10 月より実証実験を踏まえサービス提供予定の「メタバース市役所構築支援」は、今後さまざまな分野での展開が期待される「メタバース」の先駆けとなるサービスであり期待をいたします。

「書かない窓口システム」についても本年 1 月にサービスが開始され令和 7 年度は本格稼働となります。市民サービスの向上と業務効率化を推し進め、かつ臨機応変の対応をお願いいたします。

スポーツ施設管理運営事業については、松戸運動公園体育館他改修、柿ノ木台公園体育館空調設備設置など、バリアフリー化や空調設備の設置にて、市民のだれもが、スポーツに親しめる環境整備と災害時など非常用照明やコンセントの利用が可能となることで、フェーズフリーで防災・減災の効果が見込める改修を高く評価いたします。

#### ■民生費

老人福祉センター管理運営事業は、運動教室や体操を通しての運動機能の維持・向上、栄養講座や料理教室を通しての食生活の改善が生活習慣病の予防となり、家庭以外での居場所での趣味活動を通して、フレイル予防・認知機能の低下を予防につなげていくことを期待しております。

子どもの未来応援事業の「子どもの未来応援ノート作成」については、サポートする大人向けの既存のノートの更新版に加えて、新たに子ども向けのノートも作成されるとのことで反響ニーズに即した対応に、大いに期待をしたいと思います。

#### ■衛生費

不妊治療助成事業について、前年実績を踏まえての増額となっているということがよく分かりました。

動物飼養管理事業では、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成額を増額し、ボランティア活動をされる方々の負担を軽減し、過酷な環境で生きる猫たちの一代限りの命を尊重する活動が着実に進んでいると評価いたします。引き続き周知活動も余念なくお願いいたします。

#### ■商工費

コンテンツ産業に対する分析業務委託は、有効な経営支援に繋げるためにも重要な要素です。「コンテンツ産業といえば、松戸市」と言われるように、取組み内容にも注視してまいります。

また「松戸スタートアップオフィス」では、稼ぐ力を産み出す支援、「松戸ビジネスサポートセンター」では、稼ぐ力を高める支援、「中小企業デジタル化チャレンジ補助金」では、稼ぐ力をバックアップする後方支援であり、各事業支援が本市の稼ぐ力の推進となり、松戸の経済の発展となることを期待いたします。

#### ■土木費

松戸駅周辺地域活性化事業の「まちづくり基本構想推進業務」は慎重かつ着実に推進していただくこと望みます。

水辺拠点事業では、江戸川・ふれあい松戸川、坂川ともに昭和の時代では負の遺産とも言える汚れ河川が、松戸市有数の自然財産に変わり、市民の憩いと学びの場としての変貌は隔世の念を抱きつつ、今後の活用と賑わいの創出に期待をいたします。

春雨橋の運営実証は、効果検証も行いながらの「まちづくり」であり、大規模事業が控えるなかで経過にも注視していきたいと考えます。

土地区画関係業務の「常磐線快速列車新松戸駅停車資料作成委託料」については、資料の公表を待ち、次の議論はそこからであると考えております。しっかりとした調査結果をもつての議会への説明を行うよう強く要望いたします。

#### ■消防費

自主防災組織育成強化として避難所運営委員会補助金は、委員会の立ち上げや組織の活性化の呼び水となることに期待します。

災害情報共有システム導入による情報共有の効率化、災害時用公衆電話導入での通信手段の確保の防災、防災体制の設備面での支援についても高く評価し、期待しております。

#### ■教育費

物価高騰対策として、1学期の「小・中学校給食費の完全無償化」、「幼稚園児・保育園児への給食費支援」、「フリースクール等を利用する不登校の児童生徒への支援」については、ぜひ2学期以降の継続を求め、国・県へ働きかけをお願いいたします。「フリースクール等利用児童生徒支援補助金」は、利用者の支援とともに、補助金対象となるフリースクールの実態調査でもあります。フリースクールへ求められるニーズも、学校の補完的な役割から進学や就労につなげる重要な使命も担っております。重要な調査研究として捉えて、1学期の期間限定ではなく、1年を通しての変化について検証を松戸市独自の予算でも実施を検討いただきたいと思います。

市立松戸高等学校の「特色ある教育活動推進」は、創立 50 周年の節目を迎え、記念イベントの際には市民参加・参画により地元の親しまれる学校として次なる歴史を市民と共に紡いで欲しいと思います。

そして、博物館管理運営事業の館蔵資料展「人生儀礼」については、博物館の改修前の実質的なトリを飾る展覧会が「人生儀礼」であるのは感慨深く感じます。エピソードでありプロローグでもあります。身近な人や自分自身が経験した過去の歴史に想いを馳せ、リニューアルオープンする未来への想いを馳せながら楽しむ資料展、「人生儀礼」の成功に大きな期待をしたいと思います。

#### 特別会計 ■松戸競輪特別会計予算

令和 7 年度収入見込みでは、特別競輪の開催獲得がなく減額ではあるが、令和 8 年度に、オールガールズクラシック（GI）の開催が決定しているとのことで、先を見越しての誘致活動を高く評価いたします。前回開催時は、千葉県出身「刈込奈那」選手が、L 級ガールズグループ A 優勝をしたときの涙のインタビューの感動は、スポーツの醍醐味と地域のアスリートを身近に感じる機会でありました。

そして、競輪事業の収益の一部は、松戸手当の財源であり、本市財源における松戸競輪事業の果たす役割は、今後も非常に大きいものであります。今後も事業の健全推進には期待するところであります。

#### 企業会計 ■病院事業会計予算

審査を通じて患者や職員の皆さんの備蓄食料の状況、新生児用使い捨て哺乳瓶 900 本の備蓄状況の確認ができたことで、災害時の備えが分かりました。この 4 月からは「小児救命救急センター」に指定されることは、これまでの実績が認められたことや市民の子育て環境にとって、更なる安心感につながることで喜ばしいことであります。

しかし、医療環境が建設当時とは大きく変化しており、別棟建設は経営計画の重要な取組みではありますが、建設実施の判断にあたっては、医療需要の動向や地域医療構想との整合を取ったうえで、建物構造・延べ床面積を見直すことや、現在の許可病床が適正であるかの踏み込んだ検討がされることを期待いたします。

「総合医療センター」については「民間の病院」とは違い、市民の命を守る最後の砦として、政策医療を提供する中で収益を確保していくという難しい課題をクリアして、一般会計の負担を少なくする努力を求められます。

引き続き、医師・看護師の確保、収益の改善を図り、経営を安定させるご尽力を強く求めます。